（二日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料（雑報欄行五十錢　場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

火の用心□□□□

四丁目　小山三郎

オイお互ひ頼むせ、大風の吹き付けた二十三日の晩俺ら主人のお使ひで可なり風上の某町の小路を通つたと思召せ、突然ゴーゴーと云ふ呻り聲が風にしては少し變だと思つて見ると驚いた、風呂の釜の火があの大風に煽ほられて凄まじい音を立てて居る、低い煙突からは火の子さへ飛んで居るハラ〳〵して見て居たものの末には怖ろしくなつて逃げ出した、見れば二三人家族の寢り大僕でも無い家らしいが、思へば其の無責任行爲が憎らしくてならなかつた

俺らの家では毎晩風呂を沸かすが其かわり主人は萬一を顧慮して風の吹く日は何日でも風呂を立てず、入りたければ錢湯に行けと云ふんだ、俺等は主人の命穏心に感じて（其れが當然の事だろうが）うんと汚れた時でもねい限り商賣柄錢湯の經濟上錢湯にも行かねい事が多いんだよ

此前の大風の時にある橫町を通つたら障子の傍で七輪の火を煽いでバチさせて居たおかみさんが、燃ねトがる火を置き去りにしてプイと飛び出した無責任さに吃驚りした事が有つた、ハハアこんな女だな亭主や子供を置き去りにしてふツ飛んで行くッてやつはと思つたが其れでも火を置き去れるよりは幾しだと、其火が心配で暫く見て居た。よく平では近頃大火がないから大丈夫だなんて火を粗末にする亂暴な奴が有る樣だが、萬一此前の悲慘事を繰返す樣な事が有つたら何うするんでい

風の夜の夜廻はりの木の音やガソリンの笛の音が萬人の味方の聲とひびくぜす〳〵夜風の街の火の敵は平其れに何十倍の勢ひで襲來するか判るめわてもんだ」だからさつする處お互ひに公德心を重んじて火を大事にする外に道が無かろうてんだ、其れでも

一、子供に火を怖れさせる事

マッチを摺つたり火を弄んだりするとウント叱りつける家庭がある、ホントに好い事だと思ふ、子供は無心に火遊びをする火の怖しい事を知らぬからだ、農家の火事は多くは子供の弄火だと云ふ、何時かの怪火なんども實は子供等がやらかしたてんちやねえか、俺らも子供の時に火遊びをした事を思ひ出すとゾッとするよ

二、煙草をのむ人に

俺らはまだ小僧の身分で煙草の味は知らねえが風の日などに吸ひ殼を無頓着に棄てて歩く人を見ると癪に障る事が度々ある、吸殼一本で大ホテルが全燒したり、全町大半烏有となつたとは專賣が證明して居るではねねか、其學生が棄てた吸殼の火が風に煽ほられて輪げ行くのを注意されたら其い野郎が怒つて喧嘩を吹つかけたと云ふが俺が居たら其學生を毆ぐるんだツけ旨い露丈け吸つてあとは野となれ火事となれでは濟むめねちやねねか

三、殘火の注意

寢る前の金室の殘火、客の去つた後の火鉢、停電の後の蠟燭のつけッ放し等々注意を願ひますせ、提灯を置きつ放しにして土藏の中を蒸し燒きにしたり（ナニ食べる積りであつた相だと？笑談ちやねね）火鉢の火か灰を通して底から疊に拔けて大事にならぬまで知らなかつたり（天勝でなくとも其筋の謎當はよくやるんぢやねねか）俺の知人はカン〳〵怒つて居る火を火消し壺に入れて（飲んだくれのたやちをさし込んだ積りで寢てしまつた眞夜中に屋根まで燃ね拔けて大騷ぎされた事がある、隨分粗々つかしい樣だがつまる處うつかりして居る罪だ互ひ風のある時は殊に緊張し合はう世兄弟

四、消火器を澤山備ひたい

猿狽し易い失火の際はバケツや金だらいの水では役に立たねるんだ相だ、障子から天井まで燃え拔けた火がアチコチの消火器が集まつて消し止めたとは俺等でさへ二三回耳にした、主人の家では三つも置くせ、隣の醴轉ばねねが此の中間が親融君とやらに黒燒きにからされたとしたら何とする。舊幕時代某所に醫者が居て近處の失火で類燒した、フザケたのが其前に

お醫者さん家の黒燒き何になる

と落首した呑氣な風流醫者

翌朝早速其傍に
日曜大工の腹藥りなり

とやらかした、昔しは其れでも濟んだろうが生活程度の高い今日其復興事業にも何年を要するか判るめね、火元の恨怨か萬人から向けられたらどんなもんだろうと思つたら螢の樣な火の孫でも夢たろそかに出來めねちやないか、ねゑ兄弟お互ひ此れからの火災シズンとやらに直面してしで緊張し合はう世頼むよ。

※明日の吉凶※
舊暦十一月十日　新暦十二月三日

▲一白　左右より支待せられども目上に緣薄き日▲二黑　一家足並を揃へ決心堅く進めば吉日たり▲三碧　氣分を新にし奮闘すれば撓頭寒へべし▲四綠　蛾が餌を運ぶやうに朝から撓ます勵むべし▲五黃　事無れキ義を以て徐に進む方が吉き日▲六白　心を高潔に外に對して寬大なれば吉に向ふ▲七赤　次第に廣中なる運に惠まるゝ日勤儉が第一▲八白　波瀾を避け緩みを見て進む樣にすれば無事▲九紫　次第に慶福に向ふべし博愛の美風を忘るゝな

講談　血で血を洗ふ　(202)

高橋掬太郎創作　布施半八郎揮毫

父の仇

川越軍治はお家に仇なす奸臣といふばかりでなく忠太郎のためには怨みは深き父の仇であつた、父忠兵衛吉行を討ち取つたのが川越軍治であることを忠太郎は知つてゐたしかも忠兵工を討つてから彼が昌康に重く用ひられるようになりその上に妹のた照を側室に上げて今日の榮華を振舞つてゐる、それを思ふと忠太郎の無念の思ひは募つた

「よし今夜は一つ川越軍治を討ち取つてくれやう」

と彼は決心した、彼の心は復讐の血に燃ね立つたのであつた

「だがあの怪人はどうしたのであらう、何の爲に此の邸に入つたのであらう」

と忠太郎は訝かつたそして訝かり乍らひらりと塀を飛び降りてあたりを注意し乍ら忍び込んだ。まだ四つを過ぎた計り、の宵なのに雨戸が堅く閉ざされてゐたそして第二の怪人の姿は何處へ消ねたか見當らなかつた。

忠太郎は大膽に勝手口の方へ廻つて戸をこぢ開けたそして緣に片足をかけた時その緣い板が外れたガタッ――といふ激しい物音に忠太郎はハッと思つた。

「誰だッ――」

と障子の向ふから咎めた者があつた、忠太郎は樣子を見る爲に傍に身を忍ばせた。

「怪しい物音が致したぞ」

と二三人が立ち上つて來る足音がした

「あつ戸があいてゐる」

「それ曲者ッ――」

とロロに叫んだ

「ナニ、曲者ッ！」

と又二三人の者が押取り刀でどや〳〵出て來た皆川越軍治の身邊を警戒してゐる腹心の若侍であつた、一人か忠太郎の身を忍ばせでゐる前へ來た

「何處へ隠れてゐるのだらうお奉行の邸へ忍び入るは大膽な奴だ」

といふ奴を忠太郎は躍り出て拔討に斬りつけた

「あッ！」

と叫んで打ち倒れた

「それ曲者だッ！」

「やッ天狗の假面の怪人！」

うろたへ乍ら一同が一刀の鞘を拂つて忠太郎を取り卷いた

「はゝゝゝ取り卷いて何とするのだ汝等如き蛆虫が五疋や七疋かゝつても一討にしかたらないのだ、おとなしく致してくれ、汝等に用があるのでない、川越軍治の首級を受け取りに來たのだ神妙に致してくれゝばよし邪魔立て致すと命がないぞ」

と忠太郎は大喝した

「何をッ」

と虛勢を張るが忠太郎の氣勢に壓倒されてゐる〳〵ふるへてゐるのが見ねた

「はゝゝゝふるへてゐるではないかそんなことでこの鞍馬山の天狗を斬れると思ふか人を斬る時はこうして斬るのだ」

忠太郎はせゝら笑つて前へ飛び込むや

「ねッ！」

と横に拂つた一刀代そうとしたが間に合はない胴体を與つ二ツに斬られて一人が倒れた

「あつやられたぞ」

と殘る者か思はず怖れて後に退つた、忠太郎は身を躍らせて奥へ飛び込んだ

「それ逃すな」

とふるひ聲で叫び乍ら追つゞいた、女小供が部屋の隅に隠れてふるへていたが忠太郎はそんな者には目をかけず軍治の居間とも覺しきあたりを探した

「川越軍治、何處に隠れてゐるのだ卑怯な振舞を致さずと出て參れ」

と忠太郎は叫んだ、けれど軍治の姿は見えなかつたたゞ軍治の若侍共たけが恐る恐る追ひ詰めて來るのであつた。

燦然!!異彩を放つ典雅戀渦爭鬪の名篇四つを並べて

明石潮郎、千草香子、松本田三郎（合同作品）
戀地獄　八卷
いとしき人のためには身を犠牲にしてこそ眞の戀添はれぬものを添ふとすれば三吾を自滅さす殊に拙戀は三吾より御身を思ふ―恩義は恩義…戀は戀

マキノ　マキノ正博得意の學生劇
健兒
九州炭山に一ヶ月の日子を費し多大の費用を投じて遂に完成せしマキノ近來の大活劇
鑛山冒險大活劇　隼　前篇七卷
「チ・ジンガ」の電報を受取り歸國してより物語は初まる怪々痛快無比鐵腕飛ぶ大活劇

（特別映畫）昭和へキ頭を飾る我が々御國の威力!!
陸軍特別大演習の實況
陸軍省御後援!!全軍の意氣を衝く!!

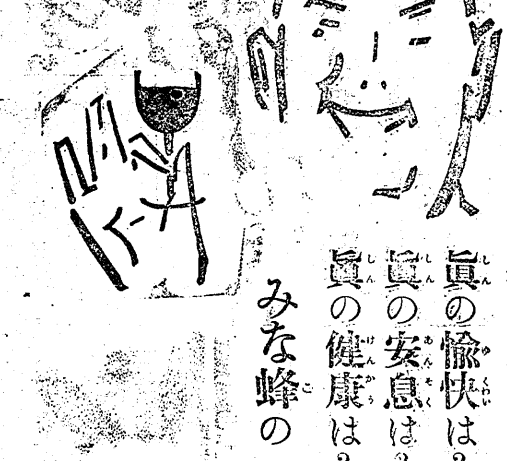
歌川八重子……主演
亂れ咲く花　六卷
思ひつめたる女の心義理故に泣かねばならぬ……女の心、覗きものゝ名は……女――である!!

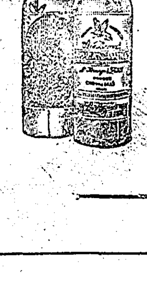
嵐長三郎、岡島艷子（復歸第一回作）
時に鎌倉時代又樂若き血に燃ゆる人々…さぞらかに見る夢にも似たるやはらかき物語り……
時代古典劇　青春　八卷

小島陽三、マキノ政之助、天野乃一、マキノ登六
帝キネ　マキノ　有聲座　平驛前――電四四六

平町紺屋町　吉田眼科醫院

七五三ノ御祝着
可愛イ御子様ノ品々
子供　オーバー　ラシヤ洋服　ヒールマント　ラシヤマント　トウサギノ毛　エリマキ　毛ジバン　オデヨンコ　各種
其ノ他澤山入荷致シマシタ
平町四丁目　ツルヤ商店　電一四〇





蜂ブドー酒

眞の愉快は？
眞の安息は？
眞の健康は？
みな蜂の一杯から……

『蜂印香竄葡萄酒』といふ名稱を皆樣のお奨めに依り今後『蜂ブドー酒』と改めます　但市場にある從來のものは其儘として追々に『蜂ブドー酒』と改めます

近藤利兵衛商店發賣

外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平町南町　上田外科醫院　電話一二九

◎徒弟入用　徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞數回受領
磐城國平町　草野染工場　電話三四八番

營業品目　絹糸、絹紡績　綿糸、染糸、組紐　漁網糸、人造絹糸　カタン糸、輸出用加工糸　眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店　電話浪花三五二一番　振替東京三三四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集　十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方は磐城新聞社御出で下さい。委細面談

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣
並に部分品提供
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町　日東商會　電話六五〇番

釀造元　清世界
銘酒　各炭鑛御用達
石城小名濱町　清水屋　小野晉平　電話六番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社　平出張所　電話　六〇三番　五四一番

萬一否決するあらば原案執行の段取り成る
知事と主務省の打合も出來
小名濱商港修築問題

小名濱港修築問題は折角今日まで順調に進捗を見ながら場所が政友會の地盤である等の關係から縣會の絶對多數たる民政黨があまり好意を持たず雨となるか風となるか、險惡なる空氣がたゞよつてゐるが、これに對する內務省の意向をきくに既に來年度より實施すべく國庫補助も閣議の通過を見てゐる今日縣會の否決を受けたりとて直ちにこれを引込めることは面目にかけても出來ないことであるから若し萬一否決若しくは數年か延期の如き大修正を加へたるときは知事をして直ちに原案執行の申請をせしめ、議會再開前にこれが認可し豫算の協贊を經る積りであるその結果縣會の意志を無視するやうなことがあつてもこれはやむを得ないと見てゐるやうであるから民政黨の策動も結局において目的を貫徹する事は不可能に終る模樣である

小名港視察の議員の顔觸れ
政民九名宛

小名濱修築問題に關し前縣の政民兩派の縣會議員の中から代表者を派遣して兩港の視察をすることになつたが人選の結果、視察議員は次の如く政友派九名、民政派九名、十八名と決し各議員は何れも自費を以て小野前縣議の案內で視察をなすことになつた、而して出發は三日午後四時、同夜平町一泊、四日小名濱に至り視察を遂げて歸福の豫定である

◎政友派　古川傳一　鈴木啓夫　山崎春平　太田秋之助　石田俊夫　宗田利助　奥山忠藏　佐藤利助　鈴木辰三郎

◎民政派　若松美三　野崎滿藏　鷲尚昇　岸崎光衛　菅野喜三郎　石井康直　吉田弘次　矢部丈夫　湊芳藏

農產品評會
本郡の入賞者

過般棚倉町に擧行された棚倉郡農會主催第三十六回縣下農產物品評會に本郡より出品入賞した者は次の如くで何れも昨一日付伊東知事から郡農會を經て褒賞を授與された

△入賞者氏名

二等梨、平窪村根本久光　同二等柿、同村根本直一　三等柿、同村岡部直久　同三等梨、赤井村平津庄重　同三等柿同人　以上

勞働爭議に鑑みて鑛山警察の必要
七日目きのうの縣會で
古川縣議の質問

本縣々會第七回目は昨一日午後一時半より開會各方面に亘る質問戰を續けたが本郡選出議員古川傳一氏は近時社會問題の發生は社會の復雜化より來たもので勞働運動なども可成り深刻なものがあるが警察官がこれに對して充分機能を發揮してゐるや否やを疑ふ、本年二月約四ヶ月に亘つて磐城炭礦に於ける爭議に就き警察官の用したる費用炭坑側の受けたる損害は別として附近町村民の受けたる脅威は甚だしい、中產以下の小商工業者が休業し、婦は外出を禁せられ湯本町は町會の決議を以て縣に訴へた筈である、然るに縣は何等の方策に出でなかつた、當時會社側は警察官は勞働者に威脅されて何事も出來ないと云へ勞働者はまた資本家の走狗と叫んで居た、斯くては警察の威信はない

論ずる處材料は豐富で條理整然、斯る炭礦方面に特殊の警察施設、即ち礦山警察の必要がないか」と結論して語を轉じて[illegible]十八[illegible]敗じてゐるが改築するの意志はないかとの質問に對し別宮警察部長は「警察が何事が起きても充分であるといふ程度にして置く事は財政上許さない、礦山警察を置いても爭議が根絶するとは思はれないが出來るならば置いて見たい、警察廳舍は古いのが多く事務の能率増進上改築を期してはゐるが漸次實行したい」植田署も古いからとの言質を與へて降壇し議長は休議を宣す二時二十五分

闇の誘惑
年の瀨の迫れるに伴れ賑ひ出した平の花柳界
全盛はカフエー

……罪惡……の花が咲いてふダンスホールの設けこそなけれ、蓄音機から流れるフオックス、トロットの舞踊が夜毎幾多若い男女をひきつける町の明るいカフエーと云ふものが今や二十軒以上もある程に今日も開けたものだ、雪白のエプロンを胸高くきりゝと締て、あんにやさん連稱讃の的となつてゐる女給の而も濃艷な處を雇入れる

蘇が昨今平町各カフエー其通の流行となつて之此れが影響はやがて新田町から南町さては五色町の遠きに迄波及してその侮るべからざる商賣上の蠶食振りは明かに數字的にその闇の消息を物語つてゐる

……即さ……之れをこの方面ノ働く各階級の女性の數に就いて見ると平町現在の藝妓數は大少約百卅名で例年の今頃に比べるとざつと一割の減少つぎは南町の暗に咲く白粉の花之が現在七十四名の少數で先頃九十人から百人近くを算した當時から見るとド豪い減方と云はねばならない更に女給は前記新田町と南町のみに止まらず

……更に……長驅して五色町方面の消長を見るに現在僅に四十六名のあたま數で之亦可なりの減少率を示してゐる、尤も前記各方面の減少理由は之れを擧げて悉く女給の擡頭にのみ歸することが出來ず勿論昨今の不景氣に最大原因を發してゐるものと觀ねばならぬが女給の跋扈も亦否むべからざる原因の一つで平町現在の藝娼妓酌婦は不景氣と女給の跳梁で茲許頽背に敵を受けてゐる形ちであるが女給を除くの之等の總數が實に二百四十名を多きに達しエプロン組を加へると優に三百名に近く而も大して過剩の觀なしと云ふに至つては平町の景氣は末だ以て

……俄に……に悲觀するにも當らない程豪勢なもので殊に新田町界隈では來るべき諒闇明け第一の正月を前に夫々增員の計畫があり南町方面でも殆ど同樣の氣運にあると云ふに至つては他方面の一般とは異なつて平町花街の賓相は時節柄意外の繁昌振りと云はねばならない

會社も勞働者も輕擧盲動を嚴戒
郡內の貯炭二百萬圓
各炭礦も大苦境

石城郡の經濟界は所在炭礦の振不振に直接に大なる影響を受けてゐるが打續く不景氣に閉ぢられ悲慘な淵にもがいてゐる原因は云ふ迄もない各種工業の不況による需要減と炭價の暴落からで昨今の山元貯炭は一ヶ月の出炭八萬トンを算する磐城炭礦が淺野社長直接の宰配でも一萬乃至二萬トンの賣却殘りをどうともなし得ない同礦の現在十萬トンを筆頭に入山炭礦の二萬トン古河、三井、福島の各一萬噸其他同郡內では少なくも十六萬噸に達してゐやう之れを一噸平均十二圓に見て實に二百萬圓の停滯であるから決算期を控へての四苦八苦は想像に餘りがある、斯うした炭礦の行詰りは直接勞働者の首に拘る問題で現在と昨年同期における比較動態を見ると各礦共に大同小異の漸減によつて總數一千餘名の解雇を出してゐるが此不景氣が何所まで續くか資本家にも勞働者にも頗る緊張を要する時機で雇者共に輕擧盲動を愼まなければ結局は共倒れより外あるまいと炭礦の近狀は一般から重視されてゐる

[illegible]十八は三[illegible]改選の結果鈴木寅次郎氏當選した

金は浚つて汽車は無賃
四倉の少年

石城郡四倉町本町光太郎長男岩木寅吉（一四）は去月中東京池袋丸榮新聞店に雇子としてすみ込み中同店から金四圓餘を搔つ攫ひ逃走無賃のまゝ東京上野驛から郡山驛を經由平驛までたゞ乘りをなし一日午前八時四十六分平着と同時に逃走せんとしたのを驛員に取押へられ平署に引渡された

此處にも出る兎の惡商人
農會で退治策

石城郡地方の農村が最近副業養兎を行ふに至り到る處普及されるに及んだので其飼育數等は實に夥しきに達し尚益獎勵されつゝある狀態なので利を見るに賢き賣買商人等は農村が一般市價に通せざるを奇貨とし市價に比較して三割安內外位にて農村から買入れ暴利を貪りつゝあるを見たので郡農會では折角有利なる副業として農村に普及し斯くの如き狀態に至れるに之れを不正商人の爲めに市價よりも三割前後の安値に買取られて了つたのでは農村の福利を剝奪されて了ふものであるから之れが救濟法として共同出荷組合乃至は之に適當な方法を試みて不正商人の橫行を防止したいと計劃中である

兵事主任會
法令改正に伴ひ

本郡では今般兵事々務に關する法令が大改正せられたので近く各町村兵事主任會を開催し縣當局並に聯隊區司令部より係官の派遣を得て兵事々務の研究會を催す答で日取は大體來る十日前後に決定した

田町衛生區長
平町

字田町區衛生區長島羽藤吉氏は此の程任期滿了し後任

強姦未遂は三年破藏師は六年
きのう強の者を括めて
平支部判決言渡

稀代の破藏師伊逹小僧事伊逹郡生れ鈴木鼎（三六）が去月高久村に潛伏中を平署の爲めに逮捕送檢された旨既報の如くであるが其の後審理を續けられた上三十日平支部公判廷に於いて千葉裁判長から懲役六ヶ年を言渡されたが今夏六月中內鄉村から入山第四坑に通ずる隧道內に於いて通行中の內鄉村住野菜行商女二名に對し怪しからぬ振舞に出でた上所持金を强奪した山形縣生れ當時住所不定仁村末吉（三四）北海道生れ當時不定居岡直吉（二九）の兩名も同樣三十日平支部判廷で末吉は强姦未遂强盜で懲役三年、直吉は强盜で懲役四年を言ひ渡され各れも服罪した

町村長打ち揃つて商港通過運動
副會長以下役員の改選
きのう町村長會

町村長石城支會では目下縣會の重要案となつてゐる小名濱商港問題の縣會通過速進を計るため昨一日午後一時から臨時總會を開催した[illegible]昨報したが結果は町村長石城郡支會の名を以つて小名濱商港案の

縣會通過 速進を縣會議長並に政、民兩黨幹部各縣會議員當局等に陳情書を提出する外更らに本郡內全町村長全部が帶同して來る五日出福し同案通過の大運動を開始する事に滿場異議なく可決決定したが同總會は役員の改選に移り副會長たる勿來町長が滿期退職し後任副會長は小名濱町長鈴木榮氏に同氏の評議員退職の結果植田町長佐川龜太郎氏

評議員に 更らに評議員若松前赤井村長が退職の結果好間村長金成淺次治氏が評議員に各れも當選した

平署巡查異動
各一日附で發表

平警察署では昨一日附で次の如く管內各駐在巡查の異動を發表した、以下新任地と氏名

磐崎駐在異弓巡查、好間村駐在小山田巡查、湯本町三函駐在赤津巡查、湯本上町駐在兒島巡查、小川村福島駐在柳原巡查、內鄉村綴駐在佐藤巡查、湯本町四坑詰所鴫原巡查、同八仙駐在阿部巡查、玉川村駐在大賀巡查、司法特務星巡查以上

石炭を嚙る大鼠實は發電所の雜夫
平署の取調に包めず
綱雄泥を吐く

平町七丁目磐炭發電所貯炭場から頻々として石炭が盜み出される事件あり平署搜査中昨一日夜十一時頃同貯炭場から石炭約十貫匁を窃取逃走せんとした犯人を發見本署に

引致嚴重 取調べたところ此奴は當時同發電所職工長屋居住山形縣東置賜郡龜岡村生れの雜夫渡邊綱雄（二四）で犯行を自白したが餘罪取調の結果去る大正十二年六月中鄉里川原町一流の安藤旅館で宿料約五十圓を踏倒し上京の途中列車中で知り合つた伊逹郡睦合村佐藤信三郎が岐阜縣高電山發工事の人夫を募集してゐるところから「人夫になるから」と信三郎を僞り現金八十圓を詐取し其の後各地で

前後數回 に亘り同樣手段で詐欺を働き今年春頃本郡大浦村龜山重次郎方から衣類四點を窃取した事を自白した

時言

民政黨がぢたばたすれば原案執行の奥の手に愬へても小名濱商港を完成せざる可らず、と謂ふ、何と力强い言ではないか

□

鑛山警察の必要を說く古川縣議の質問は殊に吾人郡民の傾聽に價す、僻眼と邪智と利己一點張りの愚問とは素より其の撰を異にす

□

町村長連袖出福して商港案通過運動に當るは大いによろし、郡民は神に誓つてその成功を祈るであろう

□

平署を舊郡衙に移しその跡を無償で拂下げて物產陳列館にするも大名案だ但し問屋が手易く卸して呉れば結構

平署を舊郡衙に移し物產陳列館に
商業俱樂部も欲しい
平町有志の計劃

平警察署の移轉問題に就ては既報の如くで現在及將來各種の事情より綜合して當郡役所廳舍が最も適當なので既に縣警察部に於ても密に食指を動かし瀨跡を開始してゐる狀態なれば現在郡務所を置く穀物檢查支所竝三郡木炭同業組合水利組合產馬組合販賣利用組合發蠶同業組合郡農會等の

適當なる 移轉先にてもあらば未だ具体化せざ該問題も案外迅速に其決定を見るに至るらしく觀測されてゐるが此の問題が實現した場合を豫想し現平署の廳舍處分につき重なる有志者中には平町には未だ物產陳列館商業會議所等もなく商業を中心とし將來大都市を以て立たんとする平町としては甚だ

片手落の 憾があるから現平署廳舍を縣より無償拂下げをなし適當に修理を加へ階下を物產陳列所に階上を取り敢ず商業俱樂部と云ふ樣なものに充て相互有益の便法たらしめたいとの意嚮であるらしいから或は實現するかも知れない

野鼠を退治

平窪村農會では近來野鼠の橫行甚だしく田畑の損害夥しいので來る五日から其の一圓約四百町步の田畑に對し大々的な野鼠の驅除を決行する事に決定目下準備に努めてゐる

社告

橋本正春

右の者今回退社致させ候に付自今本社と何等關係無之右社告候也

昭和二年十二月二日

平新聞社
平町仲町三

鼻のクスリ チクノール錠
痔の最高內服藥 ダイサン錠
平町五丁目角
中野邊藥局

三井呉服店の陳列會於新館

◎今秋流行新製品　十一月一日ヨリ
一ショール
一着尺モスリン　商品豊富
一友仙モスリン

◎店內には紅葉と自慢の菊花京人形とアメリカ人形陳列是非御來觀の程奉希上候

◎たつこめ特價品
△白時雨毛　一丈物　九十錢
△珍柄ネル　一丈物　一圓二十錢
△白キャラコ足袋　二十錢
△黑朱子足袋　三十錢
△鬼コール足袋　二十八錢

平町三町目
三井呉服店
電話三十八番

生花教授

池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい

平町五丁目（釜屋橫町）
須藤まつの

期十二月末日マデ間

日々皆樣の御贔負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉强仕り候是非引續き御愛顧の程御願申上候

記

梅　參圓也（御一人前　藝妓、車賃往復　御酒御料理三品）
松　五圓也（御一人前　藝妓、車賃往復　御料理五品）
櫻　七圓也（二八樣デモ差支アリマセン　藝妓、車賃往復　御料理七品）

（以上現金ニ限ル）

松ケ岡公園池ノ端
割烹　ときわ
電二一二六番